

6月

ごじゆんさい ひ き いちどう ひと
 五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、
 とつぜん はげ かぜ ふ く おと てん き
 突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、
 かれ すわ いえじゆう ひび
 彼らが座っていた家中に響いた。
 ほのお した わ わ あらわ
 そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、
 ひとりひとり うえ
 一人一人の上にとどまった。
 いちどう せいれい み れい かた
 すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、
 くにくに ことば はな
 ほかの国々の言葉で話しだした。

使徒言行録2章1～4節



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		